

なまはげ館：解説 なまはげ起源

なまはげは男鹿の地域文化にはなくてはならないものとなっていますが、この民俗伝統がいつどのように発生したのかについては、歴史の闇の中に消え去ってしまいました。今日判明している中で最も古いなまはげへの言及は 1811 年に遡ります。旅行家兼文筆家の菅江真澄（1754–1829）が出版した旅行記の中で、恐ろしい神の使いに遭遇したことを、文字と挿絵で綴っているのです。菅江の旅行記には、なまはげの仮面や子供を怖がらせていたことなど、今日のなまはげの特徴と重なる多くの詳細な記述が見られます。

なまはげの実際の起源に関しては、それを説明する 4 つの伝説がよく引用されます。神話に登場する生き物から荒々しい見た目の苦行僧、それに難破船に乗っていた外国人まで、それぞれの理論がそれぞれのセクションでより詳しく解説されています。